職業高校の情報処理教育担当者
情報処理教育センターの現状
高専における情報処理教育の現状
（昭和４７年度）
に関する調査について

昭和48年3月

IIT
財団法人情報処理研修センター
蔵書之印

財団法人 情報処理研修センター

I
14
005506

本報告書は，昭和48年2月に行なった下記の調査の結果である。職業高校および高専の情報処理教育および情報処理教育担当者の養成の参考にして頂き度い。

1. 都道府県の教育委員会から派遣されて3ケ月ないしは6ケ月の情報処理の研修を受け，教育の現場にもどられた主として職業高校の先生達の現在の意見の調査，260名中230名の回答があった。（以下では「職業高校の部」と略称する）。

2. 都道府県および特別市に設置されつつある情報処理教育センターの現情調査，15センター中9センターから回答があった。（「教育センターの部」と略称）。

3. 工業，商船高専の情報処理教育の現状と情報処理教育担当者についての調査，63校中47校の回答があった。（「高専の部」と略称）。

職　業　高　校　の　部

高校における情報処理教育の調査(1)

1. (1) 貴方の学校には電子計算機がありますか

回答者の分類	商業	工業	普通科	不明	県センターまたは県教育委
総数	83	103	13	13	13
ある	44	65	5	3	4
ない	39	35	8	10	2
回答漏れ	0	3	0	0	7

県の情報処理教育センタまたは教育委員会の主事の人は，この質問に対して，回答をして計算設備を記載した場合もあり，また，学校に所属していないとの理由で回答を省いた場合もあった。

情報処理教育の研修を受けた教師の約4割がまだ身近にコンピュータ設備をもっていないことになる。また，商業高校の方が，高価なコンピュータ設備が必要であるためか，導入が遅れている。

1. (2) 県（または市）に情報処理教育センタがありますか

回答者の分類	商業	工業	普通科	不明	県センターまたは県教育委
総数	83	103	11	13	13
ある	35	35	4	5	8
ない	48	67	7	8	3
回答漏れ	0	1	0		2

1. (3) 学校にも県（または市）にも電子計算機設備のないもの

回答者の分類	商業	工業	普通科	不明	計
総数	83	105	11	13	212
双方ともない	25	25	7	6	63

予算のつき具合が遅れているためか，約3割の先生が電子計算機を教育

に使えないでいる（たゞし，その中の若干は目下導入準備中である。

2. 貴方の職場においては，情報処理教育に対してどの程度理解と支持とがありますか。

(1) 県（または市）については，

	全くない 1	2	どちらともいえない 3	4	大いにある 5	計
商業高校	0	4	19	28	32	83
工業高校	0	6	24	47	27	104
普通高校	0	1	4	5	2	12
センターまたは県教委	0	1	2	5	3	11
不明	0	1	4	5	3	13

(2) 校長，教頭については

	全くない 1	2	どちらともいえない 3	4	大いにある 5	計
商業高校	0	3	11	27	42	83
工業高校	1	6	17	40	39	103
普通高校	1	0	5	3	3	12
センターまたは県教委	0	1	2	2	3	8
不明	0	1	4	6	2	13

(3) 同僚については

	全くない 1	2	どちらともいえない 3	4	大いにある 5	計
商業高校	1	4	32	28	18	83
工業高校	0	11	29	43	21	104
普通高校	0	2	9	1	1	13
センターまたは県教委	0	1	2	4	2	9
不明	0	0	7	4	3	14

全般的に見て，情報処理教育に対する周囲の理解と支持とは良いと担当者は考えているようである。特に，商業高校の担当者は，県（または市）や校長，教頭など予算を獲得してくれる人々のバック・アップを心強く感じているようである。工業高校・普通高校の担当者の方が周囲の理解度に対する評価がやゝ低いように見られる。

3. 研修について

		商業	工業	普通科	センタまたは県教委
(1) 研修期間の3ケ月は	a）長過ぎる	0	1	0	0
	b）適当	47	50	8	12
	c）短か過ぎる	28	42	5	1
(2) 研修のレベルは	a）下げるべきである	4	2	0	0
	b）現状でよい	51	53	9	8

c）上げた方がよい	17	36	4	5

研修を受けた担当者の中には，期間を延長するとともに研修のレベルを上げることを要望する人が，約3割いることに注意する必要がある。もう少し期間を長くとり，レベルを若干上げることが必要であるとも考えられる。

(3) 商業，工業とに分類した方がよいでしょうか。

回答者の分類	商業	工業	普通科	不明	センター県教委
総数	83	105	13	13	13
a した方がよい	80	97	9	10	11
b しなくてよい	3	8	4	3	2

4. 情報処理教育に関する学会あるいは協会が作られたら貴方は参加されますか。

回答者の分類	商業	工業	普通科	不明	センター県教委
総数	83	100	13	13	13
(1) する	75	95	13	13	12
(2) しない	8	5	0	0	1

5. 現場で情報処理教育を進めて行く上での問題点

(1) 設備面

計算機が学校にないために，教育しても学生が理解してくれないとの悲痛な訴えが34もあった。これと関連して，現状では産振設備には電

算機組織の品目がないそうで，細目変更でしか購入することができないとのことである。このため他の科目を担当する同僚との折合いが悪くなったり，上司や所属地方公共体の認可が得られなかったりして，電子計算機設備などの購入資金の調達に苦労するとの意見が，31もあった。

計算機が導入されているところでは，端末装置またはオフラインせん孔タイプライタの不足を訴える声が34もあった。これと同時に，入力機器としての機械的テープ読取り器，出力機器としてのタイプライタの速度が遅いので，限られた時間に多人数の教育ができないという悩みを訴えるものも約10件あった。

この他に，コア・メモリの容量の不足からフォートランなどのコンパイラが使えなかったり，使えてもパスの数が多いので，処理能率が悪いとの苦情も多い。メーカーからの1パス・コンパイラの提供を要望する声もかなりあった。

マーク・カードまたはマーク・シートを使っているところでは，経費がかかることと，印刷切れなどによる入手困難を訴えているものが目についた。

(1) カリキュラム制度面

商業高校・工業高校・普通高校とも圧到的に大きい声は，情報処理教育では計算機の使用やプログラムやデータの作成にかなりの時間を要するのに，現在のカリキュラムではその時間を割り込ませることができないというものである。その時間をとるために，他の商業科目・工業科目などをいかにして削減するか，削減した科目などと関連した内容をもたせるにはどうしたらば良いかという問題の解決に迫られているようであり，この種の悩みを訴えるものが次に多かった。

この点で，情報処理教育の位置づけをした新指導要領のようなものを出して貰いたいとの希望も多い。特に，指導時間割とカラキュラム内容のバランスの点において，教育目標の設定が難しいと訴えるものが多かった。

商業高校では，学校で行っている情報処理教育が実社会とマッチしているか否かについて，疑念を拘いている回答も多かった。

(3) カリキュラム教材面

この欄へのアンケートの集計結果は以下のようである。各項目は一応の分類であり，それぞれの項目相互に関連をもっている。

そこでは，カリキュラムはおかれたが適当な教材がなく，個々の教員の努力に待っている現状に対しての注文が多くでている。

1. 適当な教科書がない

(1) 内容的にすぐれたテキストがない　35

（標準教科書のような）

(2) テキスト等の印刷費がかかりすぎる　14

(3) 各学校に設備された機器について　8

（とくにメーカーからの）テキストがほしい

2. 適当な教材がない

(1) 市販の教材の内容が不十分　47

実践的なものがない

思考力を養う基本的なものがない

教材の値段が高い

とくに，工高用に適したものがない

(2) ハード面指導における，ＯＨＰ用　24

又はスライド用教材がほしい

(3) 関連ライブラリーの完備が必要　3

(4) 教材作成に時間がかかりすぎる　24

（資料集めに苦労する

(5) 他教科との関連で無理なカリキュラムになる　2

（例．微積分が3年後半にある）

3. その他

(1) 指導教員の時間不足，人材不足　4

(2) メーカーの技術設計とのコンタクトできる研修がほしい　2

(3) 講義と実習との結びつきがほしい　2

（社会現場と教育面での差が大きい）

設問1に関して電子計算機の機種および規模についての回答

機種		高　校	センター
F230/10	4kW	5	
	8kW	7	
F230/15	8kW	17	1
	16kB	2	
F230/25	16kB	1	
	32kB		1
F231	32kC	1	
F331	1kB	2	
F　R	4kB	1	
	8kB	1	

F Mate	32kW	9	1
F 不明		4	
H8150	24kB	1	
H 10	4kW	3	
	8kW	8	
HiTAC ① P60216W		1	
H 不明		1	
N 1210		4	
N 1240	800W	2	
	1.6kW	3	1
N2200/50	16kC	7	
N2200/75	24kC	2	
N2200/250	49kC	1	1
N3200/130	16kW	1	
N3200	8kC	1	
N 不明		1	
O 4300	4kW	1	
	8kW	14	1
	12kW	3	
O 4500	16kW	3	
OUK 9200Ⅱ	16kB	1	
M − 7	8kW	3	
JAC 110G	1kW	1	
USAC 1500	1kW	1	

YHP 9100A 50	1
不　明	5

教育センターの部

情報処理教育センターに関する調査

近年，文部省の補助金を受けて各都・道・府・県・特別市に情報処理教育センターがあいついで設置されているので，その活動の実状を知るためアンケート調査を行なったところ，9つのセンターから回答があったのでこれを一覧表にまとめて紹介する。

各センターとも中型の小程度の規模の計算機システムを設置している。また，相当数のオフラインカードせん孔機・テープせん孔機をそなえているほか，光学マーク読取機をそなえている所が多い。ミニコンを設置している所もみられる。他に数値制御の実習設備をもっている所が多い。

最大約30校・年間延べ16,000人程度までの商業高校・工業高校の生徒に対する実習，最大年間延べ3,000人程度までの高校教員に対する研修を行なっている。教育研修の内容は入門的な性格のものが大きい比率をしめている。商業高校に対してはCOBOLとFORTRAN，工業高校では，FORTRANのみのカリキュラムを用意している例が多いアセンブラ言語の教育を行なっている例はみられない。

下表においてセンターの正式名称は次の通りである。

群　馬	群馬県教育センター
愛　知	愛知県情報処理教育センター
香　川	香川県情報処理教育センター
福　島	福島県教育センター
滋　賀	滋賀県総合教育センター
宮　城	宮城県教育研修センター
奈　良	奈良県情報処理教育センター
徳　島	徳島県情報処理教育センター

福　岡　　福岡県立教育センター

（商業），（工業）はそれぞれ商業高校，工業高校を示す

欄内に○印を記してあるものはその項目に概当することを示す。

センター名称	群馬		愛知		香川		福島		滋賀		宮城		奈良		徳島		福岡	
設置・開所の時期			46. 4.		46. 4.		46. 4.		46. 4.		47. 4.		47. 6		47. 4.		47. 11.	
センターの利用状況	(商業)	(工業)	(商業)	(工業)	(商業)	(工業)	(商業)	(工業)	(商業)	(工業)	(商業)	(工業)	(商業)	(工業)	(商業)	(工業)	(商業)	(工業)
利用する学校数	5	7	18	13	6	4	3	3	7	5	11	8	5	4	9	5	2	2
地区内の学校数	6	7	22	17	6	4			10	5	3	3	5	4	9	5		
利用する生徒数																		
1回当りの人数	45	45	135	160～120	45	40	45	45	46	40	45～90	40～80	90	80	45	40	45	40
年間延人数	277.2	177.3	9900	6760	5500	4000			3.522	1.345	4810	3760	4500	4240	2295	1320	180	80
生徒1人1回当りの利用時間数											このほか普通科にも実施		このほか普通科にも実施					
1日の時間数	6	6	4	4	6	6			5	5	6	6	5	5	6	6	5	5
日数	～3	～2	5	3	2～3	2～3			2.4	2.2	1～5	1～5	5	5	5	5	3	3
カリキュラムの内容																		
FORTRANとその応用			○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○
COBOLとその応用			○		○		○		○		○		○		○		○	
アセンブラ言語とその応用												○(NC)						
その他																		
入門コースとアドバンス・コースとその比率	1:1		学校の実情に応じ多様		5:3				入門コースが主		4:1		1:0		6:1		各学校のカリキュラムに応じて行なっている	
生徒を指導するのは																		
学校教員	○		—		○		○		○		○		—		○		○	
センター所員	○		○		—		○		○		○		○		○		—	
その他	—		—		—		—		—		—		—		—		—	
カリキュラム・教材は																		
県などの統一カリキュラム	—		○(センター)		—		—		—		—		—		○(県)		—	
各学校独自	○		○		○		○		○		○		○		—		○	
生徒の宿泊施設	なし		なし		なし		なし		なし		あり(78名分)		なし		なし		なし	

		(商業)	(工業)	(商業)	(工業)	(商業)	(工業)	(商業)	(工業)	(商業)	(工業)	(商業)	(工業)	(商業)	(工業)	(商業)	(工業)	(商業)	(工業)
センターの利用状況B高校教員に対する研修	利用する教員の数																		
	1回あたりの人数	15	15	60	85	30	30	15	15	18	18	30	30	20	20	10〜30	5〜30	20	20
	年間の延人数	450	440	300	425	150	150	45	45	196	241	1340	1580	90	235	60	90	60	60
	1人1回当りの利用時間数																		
	1日の時間数	6	6	4	4	7	7			6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	日数	10	10	5	5	5	5	5	5	6.5	6.5	4〜24	4〜24	5	5	5〜10	5〜10	5	5
														このほか理数科の教員にも実施					
	研修内容																		
	FORTRANとその応用	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
	COBOLとその応用	○	—	○	—	○	—	○	—	○	—	○	○	○	—	○	—	○	—
	アセンブラ言語とその応用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他	○(OS)	○(OS)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○(NC)	—	—	—	○(NC)	—	—
	入門コースとアドバンス・コースとの比率	1:1				1:1				全部中程度		3:2		1:0		2:1		1:2	
	研修会の講師は																		
	大学教授	○		—		○		—		○		—		—		—		○	
	センター所員	○		○		○		○		○		○		○		○		○	
	指導主事	○		—		—		—		—		—		—		—		—	
	内地留学等で研修をしてきた	—		—		—		—		—		—		—		—		—	
	教員	—		○		○		—		○		○		—		○		—	
	その他																		
	生徒の利用時間と教員の研修のための研修のための利用時間との比率	1:1		10:1?		10:1				15:2		2:1		5:1		6:1		2:3	

計算機システム									
機種	FACOM230-25	HITAC8210	FACOM230-25	FACOM230-25	FACOM230-25	FACOM230-25	NEAC2200-250B	FACOM230-25	FACOM230-25
メモリー容量	32KB	32KB	32KB	32KB	32KB	32KB	49KC	32KB	32KB
磁気ドラム装置	524kB	—	524KB	524KB	524KB	524KB	—	524KB	524KB
設 磁気ディスク装置	7,25MB×2	2.56MB×2	5.2MB×2	5.2BM×2	5.2MB×2	5.2MB×2	9.2MC×2	5.2MB×2	5.2MB×2
磁気テープ装置	21.6KB×4	30KB×4	21.6KB×4	21.6KB×4	21.6KB×4	21.6KB×4	28KC×6	21.6KB×6	21.6KB×4
カード読取機	300枚/分	750枚/分(マーク付)	800枚/分	800枚/分	800枚/分	800枚/分	800枚/分	800枚/分	600枚/分
ラインプリンター	360/440行/分	600/300行/分	1000行/分	1000行/分	500/1000行/分	1000行/分	420行/分	1000行/分	370/900行/分
紙テープ読取機	200字/秒	500字/秒	240字/秒	240字/秒	600/1200字/秒	300/600字/秒	300字/秒	200字/秒	300/600字/秒
紙テープせん孔機	50字/秒	110字/秒	50字/秒	100字/秒	100字/秒	100字/秒	110字/分	100字/秒	
光学マーク読取装置	—	—	100枚/分	100枚/分	100枚/分	100枚/分	200枚/分	100枚/分	100枚/分
その他				X-Yプロッタ	X-Yプロッタ	X-Yプロッタ	X-Yプロッタ ディスプレイ	X-Yプロッタ	
オフ・ライン装置									
カードせん孔機	5	14	20	16	6	18	23	14	15
テープせん孔機	5	10		13	6	10	47	10	6
カード検孔機	2	1		1		1	1		1
その他		分類機	分類機・照合機 作表機 集団復写せん孔機					分類機翻訳機集団 復写合計せん孔機	
備									
その他の計算機				FACOM-R 8KB		TOSBAC-40 32KB	FACOM-MATE 32KB		
数値制御関係実習用機器		あり		あり	あり	あり	あり	あり	あり

高　専　の　部

◎　高専における計算機の導入状況

1.　回答のあった47校中31校に導入されている。

2.　導入機種にはつぎのようなものがあった。

		A	B
FACOM	230/25 (24kB～32kB)	270−20 (16kW)	MATE
NEAC	3200/30 (8kW～24kW)	3200/50	
TOSBAC	3400/21 (8kW)		
OKITAC	4500 (20kW)		4300 (8～12kW)
HITAC	3010 (20kC)		1101−10(4kW)
MELCOM			120(8kW)
JAC			

A欄の機種では大部分の学校では常勤あるいは非常勤の専任職員が1～2名が居り，管理運営委員会が設けられている。B欄では，大部分の学校では専任職員も委員会もない。

◎　情報処理教育担当者の年令構成

年令	20代	30代	40代	50代	60代	70代
人数	36名	84	31	19	4	1
	(21%)	(48%)	(18%)	(11%)	(2%)	

合計　175名

◎　同上の情報処理教育歴

年数	0年	1年	2	3	4	5	6	7	8	9	10
人数	2	36	37	54	7	16	7	7	2	1	5

◎　同上の研修状況

情報処理の専門教育を終了		40名
大学への内地留学	1　年	18名
	6ケ月	14名
研修施設での研修		139名
メーカーや民間の講習会参加		473名

◎　授業科目は注にのせた以外はすべて専門科目である。

国立工業高専

高専名	授業科目名	対象学年	授業時間数(週)	対象学年	
函館工高専	演算工学	機械工学科	2	3	
	応用解析	同上	1	4	
	同上	同上	1	5	
	電子計算機	電気工学科	2	5	
	同上	同上	2	4	
	同上	同上	2	3	
	電子計算機	工業化学科	1	4	
	同上	同上	1	5	
	電子計算機	土木工学科	2	4	
	電子計算機の有無	a(有) b無			
釧路工高専	応用数学（数値解析）	機械 電気 建築	60（年間）	4	
	電子計算機及び自動制御	機械	2	5	
	電子計算機 I	電気	2	4	
	〃 II		2	5	
	〃 III		2	3	
	卒業研究		6	5	
	電子工学基礎	電子	3	2	
	電子計算機		3	3	
	電子工学実験		3	3	

受講学生数	計算機実習を強制する科目	宿題として計算機を利用する科目	実習や宿題は課さないが計算機に直接関係ある科目	昭和48年度授業担当者 氏名,所属,常勤非常勤の別
35	○	○	○	敦賀健一　機械工学科
29	○	○	○	
31	○	○	○	
24	○	○	○	塚原　至　電気工学科
33	○	○	○	
34	○	○	○	
28			○	長谷川俊勝　工業化学科
29	○	○	○	
36	○	○	○	佐野　房　土木工学科
116			○	中原秀生　一般(数学)
				三浦良一　(非常勤)
43	○			片山茂男　機械
39	○	○		宮腰秀勝　電気
42	○	○		村山康　〃
34	○	○		宮腰秀勝　〃
42	○			
32	○			坂田　薦　電子
38	○			〃　〃
38		○		伊藤　弘　〃

高専名	授業科目名	対象学年	授業時間数(週)	対象学年	
釧路工高専			1.5		
	電子計機機	建築	前期1 (　) 後期2	4	
	電子計算機の有無	a(有) b無			
※電子工学科は，学年進行中で47年度は第3学年までですので，申し添えます。					
旭川工高専	数値解，析	機械工学科	1	5	
	電子計算機 I	〃	1	4	
	電子計算機 II	〃	1	5	
	電子計算機	電気工学科	4	5	
	電子計算機の有無	a有 (b)無			
※印は48年度後期より○となる予定					
八戸工高専	電子計算機概論	機械工学科	1	5	
	電子計算機	電気工学科	2	5	
	情報理論	電気工学科	0.5	5	
	システム工学	電気工学科	0.5	5	
	電子計算機概論	工業化学科	1	5	
	電子計算機概論	土木工学科	2	5	
	卒業研究	土木工学科	9	5	
	電子計算機の有無	a有 (b)無			

	受講学生数	計算機実習を強制する科目	宿題として計算機を利用する科目	実習や宿題は課さないが計算機に直接関係ある科目	昭和48年度授業担当者氏名,所属,常勤非常勤の別
	40	○			(前期) 中島 敏 建 築 (後期) 〃 横平 昭 〃
	17	※			高田秀次 機 械
	64	※			片岡更一 〃
	17	※			〃 〃
	23				斉藤 清 電 気 栃内香次 〃 (非常勤)
	36				倉茂道夫 東北大学工学部非常勤
	32			○	小田桐章次 電気工学科 照井武彦 岩手大学工学部非常勤
	32			○	大泉充郎 東北大学応用情報センター非常勤
	32			○	本村正行 東北大学工学部非常勤
	32				鈴木 睦 東北大学工学部非常勤
	37			○	斉藤 進 土木工学科
	7	○ (外部計算)			〃 〃

高専名	授業科目名	対象学年	授業時間数(週)	対象学年	
一関工高専	電子計算機	機械工学科	1	4	
	〃	〃	1	5	
	〃	電気工学科	1	4	
	〃	〃	2	5	
	情報処理概論	機械工学科	0.5	5	
	電子計算機の有無	a (有)　b 無			
宮城工高専	電子計算機	機械工学科	1	3	
	電子計算機	電気工学科	1	3	
	電子計算機	金属工学科	1	3	
	応用数学	機械電気 建築金属	4	4	
	工学実験	機械工学科	3	4	
	電子計算機	機械工学科	1	4	
	電子回路	電気工学科	3	4	
	電気工学実験	電気工学科	4	4	
	電子計算機概論	建築学科	1	4	
	金属工学実験実習	金属工学科	6	4	
	電子計算機	機械工学科	1	5	
	電子計算機	金属工学科	1	5	
	情報工学	機械・金属	1	5	
	特別講義	機械工学科	1	5	
	卒業研究	機械工学科	6	5	

受講学生数	計算機実習を強制する科目	宿題として計算機を利用する科目	実習や宿題は課さないが計算機に直接関係ある科目	昭和48年度授業担当者氏名,所属,常勤非常勤の別
77	○			佐々木世治　機械工学科
61				〃
32			○	平山芳英　電気工学科
34	○	○		〃
61			○	笈川俊雄　茨城大学工学部非常勤
40				庄司彰，庄子満彦，赤沢真
44	○			豊岡忠義
34				丹野浩一
146	○			渡辺宏（非常勤）松村吉康，平館幸男
40			○	機械工学科全教官
40	○			庄子満彦
36			○	小枝昌造
36	○			小枝昌造
34	○			庄子満彦
36	○			丹野浩一
32	○			小枝昌造
31	○			豊岡忠義
63			○	猪岡　光　（非常勤）
32			○	機械工学科全教官
32			○	〃

高専名	授業科目名	対象学年	授業時間数(週)	対象学年	
宮城工高専	卒業研究	電気工学科	6	5	
	電気通信	電気工学科	4	5	
	情報理論	電気工学科	1	5	
	電子計算機	電気工学科	3	5	
	電気工学実験	電気工学科	4	5	
	電子計算機概論	建築学科	1	5	
	金属工学実験実習	金属工学科	4	5	
	卒業研究	金属工学科	7.5	5	
	電子計算機の有無	a(有) b無			
仙台電波工高専					
	電子計算機の有無	a(有) b無			
秋田工高専	計算機数学	機械電気工業・土木・工学科	1	2	
	電子計算機	機械工学科	1	5	
	〃	〃	1	4	
	電子計算機概論	電気工学科	2	3	
	応用数学	〃	4	4	
	電子計算機応用	〃	1	5	
	制御工学	〃	1	4	

	受講学生数	計算機実習を強制する科目	宿題として計算機を利用する科目	実習や宿題は課さないが計算機に直接関係ある科目	昭和 48 年度授業担当者氏名,所属,常勤非常勤の別
	34			○	電気工学科全教官
	34			○	池田哲夫
	34			○	阿部健一
	34	○			小枝昌造　（非常勤） 坂田真人
	34	○			渡辺　宏
	36	○			豊岡忠義
	31	○			丹野浩一
	31			○	金属工学科全教官
	157			○	吉村　卓　機械工学科
	39			○	伊藤　惇　〃
	35			○	〃　〃
	36			○	菅原英一　電気工学科
	40			○	工藤　幹　一般科目
	35			○	竹之下裕五郎　（非常勤）
	40			○	菊池光一　電気工学科

高専名	授業科目名	対象学年	授業時間数(週)	対象学年	
秋田工高専	制御工学	電気工学科	2	5	
	情報工学	〃	1	5	
	演算機器	〃	1	4	
	電子計算機	工業化学科	2	5	
	電子計算機概論	土木工学科	2	4	
	電子計算機の有無	ⓐ有　b無			
福島工高専	応用数学	機械工学科	2	4	
	〃	電気工学科	(第3学期に約20時間行なう)	4	
	〃	工業化学科		4	
	〃	土木工学科		4	
	情報工学	機械工学科	1	5	
	〃	〃	1	4	
	電気工学概論	〃	1	4	
	情報工学	電気工学科	2	5	
	電子計算機	〃	1.5	5	
	自動制御	〃	2	5	
	情報工学	工業化学科	2	5	
	化学工学	〃	2	5	
	電気工学概論	〃	2	3	
	〃	〃	2	4	
	情報工学	土木工学科	2	4	
	〃	〃	1	5	

	受講学生数	計算機実習を強制する科目	宿題として計算機を利用する科目	実習や宿題は課さないが計算機に直接関係ある科目	昭和48年度授業担当者氏名,所属,常勤非常勤の別
	35			○	渡辺倫寧　(非常勤)
	35			○	片山愛介　(〃)
	40			○	〃　(〃)
	34			○	荻原宏二郎　工業化学科
	37			○	長谷部正彦　土木工学科
	37			○	佐伯伸雄　一般教科
	35			○	鈴木行雄　〃
					鈴木澄夫　〃
	37			○	尾方隆司　〃
	35			○	亀井宜男　〃
	39	○			淡路英夫　機械工学科
	37	○			〃　〃
	37				松崎三重良　電気工学科
	37	○			鵜沢勅郎　〃
	37			○	松崎三重良　〃
	37			○	渡辺喜郎　〃
	37	○			玉田邦平　工業化学科
	37			○	伊藤　宏　〃
	38			○	内藤正義　電気工学科
	38			○	富永広一　(非常勤)
	37		○		宮野一彦　土木工学科
	37		○		〃　〃

高専名	授業科目名	対象学年	授業時間数(週)	対象学年	
福島工高専	電気工学概論	土木工学科	2	5	
	電子計算機の有無	a(有) b無			
小山工高専	電子計算機(ハード)	電気工学科	2	5	
	電子計算機(ソフト)	電気工学科	1	5	
	電気工学実験	電気工学科	5 (電算機演習3回)	5	
	電子計算機(ソフト)	機械工学科	1	5	
	電子計算機(ソフト)	化学工学科	1	5	
	電子計算機の有無	a(有) b無			
群馬工高専	応用数学	機械工学科	4	4	
	〃	電気工学科	4	4	
	〃	土木工学科	4	4	
	〃	工業化学科	4	4	
	電子計算機	機械工学科	2	3	
	(ソフトウエア)	電気工学科	2	3	
	〃	土木工学科	2	3	
	〃	工業化学科	2	3	
	電子計算機	機械工学科	1	4	
	(ハードウエア)	電気工学科	2	5	
	システム工学	機械工学科	2	5	
	〃	電気工学科	2	5	
	〃	土木工学科	1	5	

	受講学生数	計算機実習を強制する科目	宿題として計算機を利用する科目	実習や宿題は課さないが計算機に直接関係ある科目	昭和48年度授業担当者 氏名,所属,常勤非常勤の別
	37		○		松浦正博 (非常勤)
	33			○	山口信男 電気工学科
	33	○	○		〃 〃
	33	○	○		川俣米一 〃
					大嶋健二 〃
	40	○	○		高橋正善 〃
	29	○	○		〃 〃
	40		○		宮崎晴夫 (非常勤)
	〃		○		石井 満 一般科
	〃		○		細谷活水 一般科
	〃		○		奴白善保 一般科
	〃	○			宮崎晴夫 (非常勤)
	〃	○			岡田文平 電気工学科
	〃	○			石井 満 一般科
	〃	○			井野 一 工業化学科
	〃			○	呉屋充庸 機械工学科
	〃			○	岡田文平 電気工学科
	〃		○		宮崎晴夫 (非常勤)
	〃		○		〃 (〃)
	〃	○			石井 満 一般科

高専名	授業科目名	対象学年	授業時間数(週)	対象学年
群馬工高専	計測工学	機械工学科	2	4
	設計製図	機械工学科	6	4
	パルス回路	電気工学科	1	4
	情報理論	〃	1	5
	自動制御	〃	2	5
	通信工学	〃	3	5
	電子計算機応用（ソフトウエア）	土木工学科	2	4
	化工実験	工業化学科	1	4
	化学工学		1	5
	卒業研究	全学科	6	5
	電子計算機の有無	ⓐ有　b無		
石川工高専	電子計算機（前期）	機械工学科	2	4，5（各半期）
	電子計算機Ⅰ（概論）	電気工学科	2	3
	電子計算機Ⅱ（概論）	〃	2	4
	数値計算	〃	2	5
	電子計算機Ⅱ（ハード）	〃	1	5
	（後期）			
	電子計算機Ⅱ（フォートラン）	〃	2	3
	電子計算機Ⅱ（フォートラン）	〃	2	4
	電子計算機Ⅱ（ハード）	〃	1	5
	数値計算	〃	2	4

	受講学生数	計算機実習を強制する科目	宿題として計算機を利用する科目	実習や宿題は課さないが計算機に直接関係ある科目	昭和 48 年度授業担当者 氏名,所属,常勤非常勤の別
	40	○			呉屋充庸　機械工学科
	〃	○			白石明男　機械工学科
	〃			○	岡田文平　電気工学科
	〃			○	小野丈夫　電気工学科
	〃		○		水出正一　電気工学科
	〃		○		小野文夫　電気工学科
	〃	○			土木工学科教官
	〃	○			井野　一　工業化学科
	〃	○			〃　工業化学科
	各 40		○		各科教官
	35	○	○		鶴崎　明　機械工学科
	41				米沢邦男　電気工学科
	46				浅野収一　〃
	29				宮島俊夫　〃
	29				徳山栄一　〃
	41	○			米沢邦男　〃
	46	○			浅野収一　〃
	29				徳山栄一　〃
	46				宮島俊夫　〃

高専名	授業科目名	対象学年	授業時間数(週)	対象学年	
石川工高専	情報理論	電気工学科	2	5	
	電子計算機	土木工学科	1	4	
	電工学	〃	2	5	
	土木計画学	〃	0.5	5	
	電子計算機の有無	ⓐ有 b無			
長野工高専	応用数学	機械,電気,土木	4	4	
	情報工学	機械工学科	2	5	
	電子計算機	電気	2	5	
	電子計算機	土木	2	5	
岐阜工高専	情報処理	機械工学科	2	3	
	〃	〃	3	4	
	応用数学	〃	4	4	
	制御工学	〃	1	5	
	生産工学	〃	1	5	
	機械工学実験	〃	3	4	
	情報処理工学(I)	電気工学科	1	3	
	〃	〃	2	4	
	〃 (II)	〃	2	5	
	情報理論	〃	2	〃	
	応用電子工学	〃	2	〃	
	情報工学	土木工学科	2	5	

	受講学生数	計算機実習を強制する科目	宿題として計算機を利用する科目	実習や宿題は課さないが計算機に直接関係ある科目	昭和48年度授業担当者 氏名,所属,常勤非常勤の別
	29				松田秀雄　電気工学科(非常勤)
	40	○		○	出村稽典　土木工学科
	40			○	〃　〃
	40			○	坂田恭敏　(非常勤)
	160				山岸　亘　一般機械
	80				後藤克也　機械(非常勤)
	40				上野冶明　電気
	40				長　尚　土木(非常勤)
	40	○	○		橋浦正史　機械
	40	○	○		〃　〃
	40		○		川島左右輔　機械
	40			○	大川善邦　岐阜大学(非常勤)
	40			○	吉村一男　川崎重工(非常勤)
	40	○			橋浦正史　機械
	40			○	河崎一夫　電気
	40	○			北川恵一　〃
	40	○			武富喜八郎　〃
	40			○	河崎一夫　〃
	40			○	松浦晃一　岐阜大学(非常勤)
	33	○			杉山錦雄　土木 鎌田相互　〃

高専名	授業科目名	対象学年	授業時間数(週)	対象学年	
岐阜工高専	情報処理 電子計算機の有無	建築工学科 ⓐ有　b無	1	4	
沼津工高専	電子計算機概論	機械工学科	2	4	
	情報処理	〃	2	5	
	応用数学	〃	4	4	
	工学実験	〃	4	5	
	卒業実験	〃			
	卒業研究	〃	8	5	
	プログラム演習	電気工学科	2	1	
	電子計算機概論	〃	2	4	
	電算機工学	〃	2	5	
	電気工学実験	〃	4	2, 3, 4,	
	応用数学	〃	4	4	
	卒業研究	〃	6	5	
	電算機概論	工業化学科	2	5	
	電算機実習	〃	2	5	
	工業化学実験	〃	2	5	
	電算機プログラミング	〃	1	4	
	応用数学	〃	4	4	

	受　講 学生数	計算機実習を強制する科目	宿題として計算機を利用する科目	実習や宿題は課さないが計算機に直接関係ある科目	昭和 48 年度授業担当者 氏名,所属,常勤非常勤の別
	37	○			中島安夫　建築
	80	○			松平秀雄　機械 彰山　学　機械
	80	○			同　上
	80		○		岡田泰栄　機械 菊池五雄　一般
	80	○			松平秀雄　機械 彰山　学　機械 全教官　機械
	80	○ テーマにより異る			
	40	○			野島敬一郎　電気
	40	○			兵屋　進　電気
	40	○			兵屋　進　電気
	40×3	○ 部分的に			野島敬一郎　電気 兵屋　進　電気 北守　進　電気
	40		○		岡田泰栄　専門 菊池五雄　一般
	40	○ 部分的に			全教官　電気
	40	○			佐藤敬夫　(非常勤)
	40	○			小松弘昌　工業化学
	40	○ テーマにより異る			勝沢英夫　工業化学
	40	○			小松弘昌　工業化学
	40		○		岡田　平　機械 菊池五雄　一般

高専名	授業科目名	対象学年	授業時間数(週)	対象学年	
沼津工高専	卒業研究 電子計算機の有無	工業化学科 ⓐ有　b無	12	5	
豊田工高専	情報工学	機械工学科	2	3	
	〃	電気工学科	2	3	
	〃	土木工学科	2	3	
	〃	建築学科	2	3	
	卒業研究	機械工学科	6	5	
	情報理論	電気工学科	2	5	
	情報処理	〃	2	5	
	自動制御	〃	2	4	
	電子回路	〃	2	5	
	測量学	土木工学科	1	4	
	卒業研究	〃	6	5	
	建築構造力学	建築学科	4	2	
	〃	〃	4	3	
	建築構造設計 I	〃	2	4.5	
	〃 II	〃	2	4.5	
	建築応用力学	〃	2	4	
	応用数学	機械工学科	2	4	
	〃	〃	2	4	

	受講学生数	計算機実習を強制する科目	宿題として計算機を利用する科目	実習や宿題は課さないが計算機に直接関係ある科目	昭和48年度授業担当者氏名,所属,常勤非常勤の別
	40	○ テーマにより異る			工業化学科全教官
	42	○			稲垣芳彦　一般学科（数学）
	40	○			〃
	40	○			〃
	40	○			〃
	5			○	伊藤二郎　一般学科（数学）
					小森勝夫　機械工学科
	40				田中正興　電気工学科
	40			○	岩貞継夫　〃
	40				〃　〃
	40				野沢繁之　〃
	31	○			桜井孝昌　土木工学科
	33			○	山本広次，栗本譲，荻野弘 中島清実，桜井孝昌 土木工学科
	40			○	田中清人　建築学科
	40		○		完方　啓　〃
	40			○	高橋正紘　〃
	40			○	完方　啓　〃
	40	○			渡辺雅生　（非常勤）
	42	○			伊藤二郎　一般学科（数学）
	40	○			〃　〃

高専名	授業科目名	対象学年	授業時間数(週)	対象学年
	応用数学	土木工学科	2	4
	〃	建築学科	2	4
	電子計算機の有無	a有 ⓑ無		
鈴鹿工高専	電算機概論	機械工学科	2	4
	電算機応用	〃	2	5
	卒業研究	〃	7	5
	電算機概論	電気工学科	2	4
	電算機応用	〃	2	5
	電算機応用	工業化学科	2	5
	電算機概論	金属工学科	2	4
	電算機応用	〃	1	5
	電子計算機の有無	ⓐ有 b無		
奈良工高専	電子計算機演習	機械工学科	1	5
	電子計算機概論	電気工学科	1	3
	電子計算機(I)(ソフトウエア)	〃	1	4.5
	電子計算機(II)(ハードウエア)	〃	1.5	5
	情報工学	〃	2	5
	システム工学	〃	1	5
	電子計算機の有無	a有 ⓑ無		

	受講学生数	計算機実習を強制する科目	宿題として計算機を利用する科目	実習や宿題は課さないが計算機に直接関係ある科目	昭和48年度授業担当者 氏名,所属,常勤非常勤の別
	40	○			伊藤二郎　一般学科（数学）
	40	○			〃　〃
	40	○			今泉重夫助教授
	34	○			西沢芳信助教授，松林恒雄助教授，辻正利講師 山口正幸（非常勤）
	7		○		松林恒雄助教授，辻正利講師
	36			○	今泉重夫助教授
	32		○		松山光，石黒晃（非常勤）
	30	○			小林猛助教授
	40			○	今泉重夫助教授
	40	○	○		大川善郎（非常勤）
	73			○	水嶋　厳　機械工学科
	42			○	高橋晴雄　電気工学科
	80			○	武部正幸　電気工学科（非常勤）
	42				水谷　博　電気工学科（非常勤）
	42				上田勝彦　電気工学科
	42			○	上田勝彦　電気工学科

高専名	授業科目名	対象学年	授業時間数(週)	対象学年	
和歌山工高専	機械工学実験	機械工学科	3(年間)	4	
	電子計算機	〃	2	5	
	情報工学	電気工学科	2	4	
	電子計算機	〃	2	5	
	電子計算機の有無	a有 ⓑ無			
米子工高専	電子計算機	機械工学科	2	3	
	〃	電気工学科	2	4	
	〃	〃	1	3	
	電子計算機演習	工業化学科	1	5	
	応用数学				
	〃	機械工学科	1	4	
	〃	電気工学科	1	4	
	〃	工業化学科	1	4	
	〃	建築学科	1	4	
	材料力学	機械工学科	2	4	
	電気工学実験実習	電気工学科		5	
	その他各科において卒研実験実習で研修している。				
	電子計算機の有無	ⓐ有 b無			
松江工高専	電子計算機	機械工学科	1	4	
	〃	〃	2	5	
	〃	生産機械工学科	1	4	
	〃	電気工学科	1	4	

	受講学生数	計算機実習を強制する科目	宿題として計算機を利用する科目	実習や宿題は課さないが計算機に直接関係ある科目	昭和 48 年度授業担当者 氏名,所属,常勤非常勤の別
	40		○		田縁正幸　機械工学科
	40	○	○		〃　〃
	40	○	○		瀬戸幸作　電気工学科
	40			○	長尾信次　〃（非常勤）
	40	○			神一紀道　機械工学科
	40	○			馬庭　悦　電気工学科
	40			○	〃　〃
	40	○			石原幸彦　工業化学科
					山木　滋　機械工学科
	40			○	〃　〃
	40			○	〃　〃
	40			○	〃　〃
	40			○	〃　〃
	40			○	林　貞男　機械工学科
	40	○			馬庭淳悦　電気工学科
	42	○			林　隆一　（非常勤）
	36	○			〃　〃
	37	○			〃　〃
	35		○		麻生泰弘　〃

高専名	授業科目名	対象学年	授業時間数(週)	対象学年	
松江工高専	電子計算機	電気工学科	1	4	
	〃	〃	2	5	
	〃	〃	1	5	
	〃	〃	1	5	
	〃	土木工学科	1	4	
	〃	〃	1	5	
	システム工学	機械工学科	2	5	
	情報理論	電気工学科	2	5	
	電子計算機の有無	ⓐ有　b無			
津山工高専	情報工学	機械工学科	2	5	
	電子計算機概論	〃	2	4	
	数値解析	〃	1	4	
	計数工学	〃	1	4	
	工学実験（電子計算機実習）	〃	1人1年間に10時間	5	
	電子計算機工学	電気工学科	1	2	
	〃	〃	1	4	
	〃	〃	2	5	
	情報工学	〃	1	5	
	電子計算機実習	〃	1 1	4 5	
	計画工学	〃	2	5	
	電子計算機の有無	ⓐ有　b無			

	受講学生数	計算機実習を強制する科目	宿題として計算機を利用する科目	実習や宿題は課さないが計算機に直接関係ある科目	昭和48年度授業担当者 氏名,所属,常勤非常勤の別
	35		○		吾郷　浩　電気工学科
	37		○		〃　〃
	37		○		麻生泰弘　(非常勤)
	37		○		福間　彰　(非常勤)
	33	○			浜野浩幹　土木工学科
	34	○			〃　〃
	36	○			林　隆一　(非常勤)
	37			○	野坂弥蔵　(非常勤)
	80			○	藤田志郎　電気工学科
	80		○		岸本俊祐　機械工学科
	40			○	藤田志郎　電気工学科
	40	○			岸本俊祐　機械工学科
	80	○			宮地　功　機械工学科
	36			○	富田信昭　電気工学科
	37	○			仁木　滉　理科大岡 (非常勤)
	35			○	美咲隆吉　岡山大学 (非常勤)
	35			○	藤田志郎　電気工学科
	37 35	○			矢野健三　電気工学科
	35			○	富田信昭　電気工学科

高専名	授業科目名	対象学年	授業時間数(週)	対象学年	
呉工高専	情報工学	機械工学科	2	5	
	応用数学	〃	4	4	
	電子計算機概論	〃	1	3	
	情報工学演習	〃	0.5	5	
	N C 工作機械	〃	0.5	5	
	卒業研究	〃	6	5	
	電子計算機概論	電気工学科	1	4	
	電子計算機工学	〃	2	5	
	情報工学	〃	2	5	
	電気工学実験	〃	5 (年間4回)	4	
	〃	〃	4 (年間2回)	4	
	卒業研究	〃	6	5	
	情報処理	土木工学科	1	3	
	応用数学	〃	1	4	
	電子計算機概論	建築学科	1	3	
	構造力学	〃	2	4	
	構造演習	〃	2	4 5	

	受講学生数	計算機実習を強制する科目	宿題として計算機を利用する科目	実習や宿題は課さないが計算機に直接関係ある科目	昭和48年度授業担当者 氏名,所属,常勤非常勤の別
	37				松富武雄　機械工学科（近大）非常勤
	36	○			二井内信司　機械工学科 木藤　三　〃（近大）非常勤
	44				桑原兵二郎　機械工学科（近大）非常勤
	37	○			二井内信司　〃 糸島寛典　〃
	37				鳴瀧則彦　〃（広大）非常勤
	37			○	全教官　機械工学科
	37			○	脇所広司　電気工学科
	37			○	村上滋樹　〃
	37			○	〃　〃
	37	○			脇所広司　〃
	37	○			吉野信行　〃
	37			○	全教官　〃
	41			○	久良喜代彦　土木工学科
	35			○	二井内信司　機械工学科
	41	○			桑原兵二郎　建築学科（近大）非常勤
	41			○	清和四士　建築学科
	41 35			○	西村光正　〃

高専名	授業科目名	対象学年	授業時間数(週)	対象学年	
	鉄筋コンクリート構造	建築学科	2	4 5	
	鉄骨構造	〃	2	4 5	
	建築計画	〃	3	4	
	卒業研究	〃	6	5	
	電子計算機の有無	ⓐ有　b無			
宇部工高専	応用数学	機械,電気,化学	4	4	
	プログラム技術	機械工学科	2 (半年)	3	
	電子計算機概論	〃	2 (半年)	4	
	機械工学実験	〃	3	5	
	電子計算機概論	電気工学科	2	3	
	電子計算機	〃	2	5	
	電気設計	〃	2	5	
	情報理論	〃	2	5	
	プログラム技術	工業化学科	2	4	
	電子計算機の有無	ⓐ有　b無			
詫間電波工高専	無線機器		10月～11月 2 12月以降 3	専攻科	

	受講学生数	計算機実習を強制する科目	宿題として計算機を利用する科目	実習や宿題は課さないが計算機に直接関係ある科目	昭和48年度授業担当者氏名,所属,常勤非常勤の別
	41 35			○	福原安洋　建築学科
	41 35			○	〃　〃
	41			○	藤井　健　〃
	4			○	正野崎昭二　〃
	160			○	伏谷猛，岩本徳郎，永久洋治 一般科
	80	○			横尾嘉道　機械工学科
	80	○ （3年の時実習できなかったため）			川添容宏 山口大学附属工業短大電気科（非常勤）
	80	○ （3,4年の時実習できなかったため）			数名の教官で分担 機械工学科
	40	○			大久保明伸　電気工学科
	40			○	臼井源慧
	40			○	土井正則
	40			○	〃
	40	○			深川勝之　工業化学科
	30	○			高嶋正義 真渦久志

高専名	授業科目名	対象学年	授業時間数(週)	対象学年	
	電子計算機の有無	ⓐ有　b無			
参考事項 本校は昭和46年4月に，詫間電波高等学校から，詫間電波工業高等専門 従って，昭和47年度は1年生及び2年生が高専生であり，3年生及び専 設問1についてでありますが，昭和47年度においては，情報処理教育は 参考のため上記に記入します。					
高知工高専	自動制御	機械工学科	2	5	
	情報処理	電気工学科	1	5	
	〃	〃	1	4	
	〃	〃	1	3	
	計測制御	工業化学科	2	5	
	情報処理	土木工学科	2	5	
	電子計算機の有無	ⓐ有　b無			
久留米工高専	電気工学概論	機械工学 工業化学 金属工学	1	4	
	応用数学	機械工学 電気工学 工業化学 金属工学	1	4	
	電子計算機Ⅰ	電気工学	1	3	
	パルス回路	〃	1	4	
	システム工学	〃	2	5	
	機械工学実習	機械工学	0.2	3	

	受講学生数	計算機実習を強制する科目	宿題として計算機を利用する科目	実習や宿題は課さないが計算機に直接関係ある科目	昭和48年度授業担当者 氏名,所属,常勤非常勤の別	
学校に昇格しました。 攻科生（卒業後1年過程）は高校生であります。 高専生には行っておりませんが，専攻科生に行ったので，						
	32	○			星加陽三	電気工学科
	35	○			〃	〃
	34	○			〃	〃
	43	○			益弘昌美	〃
	36	○			〃	〃
	33	○			黒岩哲夫	土木工学科
	160			○	檀上光昭	九州大学（非常勤）
	200			○	川島久喜	機械工学
	40			○	南里博己	電気工学
	40			○	河野哲助	電気工学
	40			○	西出　保	電気工学
	80	○ NC工作機			相浦正人	機械工学

高専名	授業科目名	対象学年	授業時間数(週)	対象学年	
	機械工学実験	機械工学	0.2	5	
	卒業研究	機械工学	必要時間	5	
	(48年度予定)				
	電子計算機 I	電気工学	1	3	
	〃 II	電気工学	2	4	
	〃 演習	電気工学	1.5	5	
	パルス回路	電気工学	1	5	
	情報理論	電気工学	1	5	
	電子計算機概論	機械工学	1	4	
	〃 演習	機械工学	3	4	
	電子計算機概論	工業化学 金属工学	2	4	
	〃 演習	〃	1.5	4	
	電子計算機概論	機械工学	1	3	
	電子計算機の有無	a有 ⓑ無			
有明工高専	応用数学 (数値計算法)	機械工学科	4(0.5)	4	
	情報処理	〃	2	4年後期及び5年前期	
	情報処理演習*	〃		5	
	電気工学実験	電気工学科	2	1 1	

	受講学生数	計算機実習を強制する科目	宿題として計算機を利用する科目	実習や宿題は課さないが計算機に直接関係ある科目	昭和48年度授業担当者 氏名,所属,常勤非常勤の別
	80	○ アナコン		○	森田保房　機械工学
	(一部)		○		各教官　機械工学
	40			○	南里博己　電気工学
	40		○		西出　傑　〃
	40	○			西出　傑　〃
	40			○	河野哲助　〃
	40				河野哲助　〃
	80		○		未　定
	80	○			未　定
	80		○		檀上光昭　九州大学(非常勤)
	80	○			未　定
	80			○	檀上光昭　九州大学(非常勤)
	45			○	木村剛三　機械工学科 大山司朗　〃 宮川英明　〃 溝田武人　〃 (非常勤)
	40			○	山下　巖　(非常勤)
	33				
	33	○			木村剛三　機械工学科 山下　巖　(非常勤)
	35			○	荒木三知夫　電気工学科

高専名	授業科目名	対象学年	授業時間数(週)	対象学年	
	応用数学（数値計算法）	電気工学科	4(0.5)	4	
	電子計算機 I	〃	2	5	
	〃 II+	〃	1	5	
	応用数学（数値計算法）	工業化学科	4(0.5)	4	
	情報処理演習*	〃		5	
	工業化学実験第6の中の1項目，卓電実習	〃	3,4人1組（3.5h/週）×2	4 5	
	応用数学（数値計算法）	建築学科	4(0.5)	4	
	情報処理	〃	2	5	
	* 三井三池製作所のTOSBAC—5400により1回10人程度				
	+ 電気工学科のOKITAC—4300で実施				
	電子計算機の有無	a有 ⓑ無			
北九州工高専	電子計算機実習	機械工学科	3	3	
	機械計算法	〃	2	5	
	電子計算機 I	電気工学科	1 2 1	3 4 5	
	〃 II	〃	2	5	
	情報理論	〃	1	5	
	電子計算機の有無	ⓐ有 b無			

	受講学生数	計算機実習を強制する科目	宿題として計算機を利用する科目	実習や宿題は課さないが計算機に直接関係ある科目	昭和48年度授業担当者 氏名,所属,常勤非常勤の別
				○	井上盟朗　一般 猿渡正樹　〃
	39			○	宮原邦幸　(非常勤)
	39	○			荒木三知夫　電気工学科
	37			○	木村剛三　機械工学科 山下　巖　(非常勤)
	32				永田良一　工業化学科 木村剛三　機械工学科
	37 32	○			永田良一　工業化学科
				○	木村剛三　機械工学科 大山司朗　〃 宮川英明　〃 溝田武人　(非常勤)
	27	○			竹松正樹　(非常勤)
	60 分間で実施				
	78			○	岩田直人　機械工学科
	75			○	村上周太　九州工業大学 制御工学科 (非常勤)
	38 39 38			○	野母邦彦　電気工学科
	38			○	〃　〃
	38			○	磯　泰行　九州工業大学 電子工学科 (非常勤)

高専名	授業科目名	対象学年	授業時間数(週)	対象学年	
佐世保工高専	プログラミング Ⅰ	機械,電気,工業化学	1	1	
	プログラミング Ⅱ	機械,電気,工業化学	1	2	
	プログラミング Ⅰ	機械工学科	1	3	
	プログラミング Ⅱ	〃	1	4	
	電算機応用	〃	1	5	
	電子計算機 Ⅰ	電気工学科	2	4	
	〃 Ⅱ	〃	2	5	
	情報工学	〃	2	5	
	プログラミング	工業化学科	1	4	
	プログラミング応用	〃	1	4	
	情報工学	〃	1	5	
	＊ただし一般教育科目として行う				
	電子計算機の有無	ⓐ有 b無			
熊本電波工高専	現在本校は学年進行中のため5年生(昭和50年)より正科				
大分工高専	電子計算機	機械工学科	1	5	
	電子計算機演習	〃	0.5	5	
	生産管理	〃	2	5	
	電子計算機	電気工学科	2	5	
	システム工学	〃	2	5	

	受講学生数	計算機実習を強制する科目	宿題として計算機を利用する科目	実習や宿題は課さないが計算機に直接関係ある科目	昭和48年度授業担当者 氏名,所属,常勤非常勤の別	
	160	○			谷口和孝	電子計算機室
	160	○			井上富士夫	一般科目数学
					山本富士雄	〃
					野中稀平	〃
					溝上武実	〃
	80	○			寺島健一	機械工学科
	80	○			〃	〃
	80			○	栗須正登	〃 (非常勤)
	40	○			江藤誠美	電気工学科
	40	○			柴原哲太郎	〃
	40			○	〃	〃
	40	○			野中稀平	一般科目数学
	40	○			〃	〃
	40		○		永末　幸	工業化学科
として2単位行う予定です。						
	64	○			末永近志	日本鉱業 (非常勤)
	64	○			石田瑞穂	機械工学部
	64		○		杉本信道	日本鉱業 (非常勤)
	36			○	兼田　護	電気工学科
	36			○	佐藤健一	昭和電工 (非常勤)

高専名	授業科目名	対象学年	授業時間数(週)	対象学年	
	電気工学実験	電気工学科	6	5	
	卒業研究	〃	6.5	5	
	土木工学特論情報処理	土木工学科	1	5	
	電子計算機の有無	a 有 ⓑ無			
都城工高専	電子計算機	機械工学科	1	5	
	情報工学	〃	1	5	
	情報処理ソフト	電気工学科	2	5	
	情報処理ハード	〃	2	5	
	情報工学	工業化学科	1	4	
	〃	〃	2	5	
	電子計算機概論	建築学科	1	4	
	電子計算機の有無	a 有 ⓑ無			
鹿児島工高専	情報工学	機械工学科	1	4	
	情報工学	〃	1	5	
	電子計算機	電気工学科	1	4	
	電子計算機	〃	2	5	
	電子計算機（フォートラン）	機械・電気	1	5	
	構造力学	土木工学科	1	4	
	構造力学	〃	1	5	
	電子計算機の有無	ⓐ有 b 無			

	受講学生数	計算機実習を強制する科目	宿題として計算機を利用する科目	実習や宿題は課さないが計算機に直接関係ある科目	昭和48年度授業担当者 氏名,所属,常勤非常勤の別
	36	○			
	8	○			
	37				高田　弘　佐賀大学（非常勤）
	28			○	落合博二　宮崎大学（非常勤）
	12			○	岡　威男　機械工学科
	35			○	原　敦祥　（非常勤）
	26			○	〃　〃
	29				中村　給　鹿児島大学（非常勤）
	31				登本　登　宮崎大学（非常勤）
	25				中村　給　鹿児島大学（非常勤）
	74		○		河野良弘　機械工学科
	70			○	河野良弘　機械工学科
	38	○			古賀亜彦　電気工学科
	27			○	古賀亜彦　電気工学科
	97	○			古賀亜彦　電気工学科
	40		○		塚本正文　土木工学科
	40		○		塚本正文　土木工学科

国立商船高専

高専名	授業科目名	対象学年	授業時間数(週)	対象学年	
富山商高専	情報処理	航海学科	2	4.5	
		機関学科	2	4.5	
電子計算機の有無 ⓐ有 b無					
鳥羽商高専	情報処理概論	航海学科	2	4	
			(4年1時間5年〃)	5	
		機関学科	2	4	
			(4年1時間5年〃)	5	
電子計算機の有無 ⓐ有 b無					
広島商高専	情報処論	航海学科	1	4.5	
		機関学科	1	4.5	
電子計算機の有無 ⓐ有 b無					
弓削商高専	情報処理概論	機関学科	1	4	
	〃	〃	1	5	
	〃	航海学科	1	4	
	〃	〃	1	4	
電子計算機の有無 ⓐ有 b無					

受講学生数	計算機実習を強制する科目	宿題として計算機を利用する科目	実習や宿題は課さないが計算機に直接関係ある科目	昭和48年度授業担当者氏名,所属,常勤非常勤の別
124		○		北川泰郎　航海学科
63		○		宮本敏男　一般教科
41			○	
34			○	広田　実　（神戸商船大教授，非常勤）
54			○	大岩　紘　機関学科
33	○			
80			○	4年　黒瀬能聿　（航海学科）
60				5年　山口　毅　（日立造船，非常勤）
80	○			稲岡紀子生　機関学科
40	○			〃　〃
40			○	伊藤迪彦　（非常勤）
40			○	〃　〃

公立工業高専

高専名	授業科目名	対象学年	授業時間数(週)	対象学年	
東京都立航空工高専	情報処理	航空機体工学科	1	4	
	応用数学				
	工学演習	航空原動機工学科	1	4	
			2	4	
		機械工学科	2	5	
電子計算機の有無 ⓐ有 b無					
東京都立工高専	電気工学概論	機械工学科	1時間／週	3	
	生産工学	〃	2 〃	4	
	工学実験	〃	15時間／年	4	
	特別講義	〃	半年間 2時間／週	5	
	自動制御	〃	2時間／週	5	
	生産管理	〃	2 〃	5	
	応用数学	機械工学科	15時間にわたり 2時間／週	4	
		電気工学科	7週間	4	

	受講学生数	計算機実習を強制する科目	宿題として計算機を利用する科目	実習や宿題は課さないが計算機に直接関係ある科目	昭和 48 年度授業担当者 氏名,所属,常勤非常勤の別
	28		応用数学		前田辰三　(応数)
	35		応用数学		前田辰三　(応数)
	106	工学演演	工学演習		上田満男　(応用力学,情報処理)
	110	情報処理	情報処理		星野道男　(情報処理)
	111	○			岸田孝一　株式会社ソフトウエアリサーチアソシエイツ(非常勤)
	111			○	石田良男　機械工学科 佐藤光正　〃
	111	○			石田良男　〃
	96	○			蛸　次男　東京データーセンター(非常勤)
	96			○	笹原俊雄　機械工学科 佐藤三禄　東京工業大学
	96			○	石田良男　機械工学科 佐藤光正　〃 春日井博　早稲田大学(非常勤)
	111		○		富田恭一矢　一般教養科
	32		○		渡辺克夫　〃

高専名	授業科目名	対象学年	授業時間数(週)	対象学年	
東京都立工高専			にわたり 4時間／週	4	
	機械工学概論	電気工学科	半年間 2	4	
	電子計算機	〃	1	5（電子専攻）	
	電気設計	〃	1	5（電気専攻）	
	電子回路演習	〃	2	5（電子専攻）	
	電気法規	〃	1	5	
	電気材料	〃	1	5	
	卒業研究	機械工学科	平均 1時間／週	5	
		電気工学科	平均 1時間／週	5	
	電気工学実験実習	〃	3ヶ月間に 18時間	5	
電子計算機の有無	a有 ⓑ無				
大阪府立工高専	電子計算機	機械工学科	1	5	
	自動制御	〃	1	5	

	受講学生数	計算機実習を強制する科目	宿題として計算機を利用する科目	実習や宿題は課さないが計算機に直接関係ある科目	昭和48年度授業担当者氏名,所属,常勤非常勤の別
	32	○			植村辰久　明星大学（非常勤）
	26	○			下斗米徹三郎　電気工学科
	11			○	伊藤美郎　東和工業株式会社（非常勤）
	26		○		伊藤益敏　相模工業大学（非常勤）
	37	○			植村辰久　明星大学（非常勤）
	37	○			植村辰久　明星大学（非常勤）
	25	○			本橋茂守，新井泰司，相原民彦，石田良男，佐藤光正，関二郎，新井孝英渡辺敬三，鈴木英夫　機械工学科
	5	○			下斗米徹三郎，鷲見篇　電気工学科
	37	○			植村辰久　明星大学（非常勤）
	76			○	石桁正士　機械工学科（非常勤）
	76	○			田中邦宏　〃

高専名	授業科目名	対象学年	授業時間数(週)	対象学年	
大阪府立工高専	計測工学	機械工学科	1	4	
	電子計算機	〃	1	4	
	工学演演	〃	2	4	
	工学実験	〃	4	4	
	情報工学	電気工学科	2	5	
	情報工学	〃	2	4	
	自動制御工学	〃	2	5	
	電気工学実験	〃	3	4	
	特別講義	〃	1	2	
	情報工学	工業化学科	2	4	
	電子計算機概論	土木工学科	2	5	
	土木計画学	〃	2	5	
	卒研 ※実験・実習のテーマとしている	全科		5	
電子計算機の有無	ⓐ有 b無				
神戸市立工高専	電子計算機	機械工学科	2	4	
	電子計算機	電気工学科	2	5	
	特別講義（情報理論）	電気工学科	1	5	
	電子計算機	工業化学科	1	5	
	電子計算機	土木工学科	1	5	

受講学生数	計算機実習を強制する科目	宿題として計算機を利用する科目	実習や宿題は課さないが計算機に直接関係ある科目	昭和48年度授業担当者氏名,所属,常勤非常勤の別
82	○			田中邦宏　機械工学科
82		○		石桁正士　機械工学科 非常勤)
※82名をグループに分けて行う	○	○		〃 数人で分担
	○	○		〃
33	○	○		大島勝也　電気工学科
35	○	○		高橋文彦　〃
33		○		高橋文彦　〃
※	○			数人で分担
43			○	大島勝也　〃
36	○	○		久保健二　工業化学科
35		○		安東裕一　土木工学科
35			○	大同淳之　〃
利用者30		研究に利用 ○		各科で分担
80		○		竹内　誠　機械工学科
80		○		吉永元一　電気工学科
80			○	奥井重彦　電気工学科
40				土屋嘉章　工業化学科 非常勤)
40				土屋嘉章　土木工学科

私立工業高専

高専名	授業科目名	対象学年	授業時間数(週)	対象学年	
聖橋工高専	未実施				
電子計算機の有無	a有 ⓑ無				
幾徳工高専	情報処理	機械工学科	1	5	
	情報処理	〃	1	4	
	電子計算機－Ⅰ	電気工学科	1	3	
	〃	〃	1	4	
	〃	〃	2	5	
	電子計算機－Ⅱ	〃	2	5	
	電気工学実験	〃	8／35	3	
	〃	〃	10／35	4	
	卒業研究	〃	6	5	
	電算機	工業化学科	2	5	
	電算機実習	〃	2	5	
	電算機	〃	4	4	
	電算機	〃	1	3	
電子計算機の有無	ⓐ有 b無				
桐蔭学園工高専	プログラミングⅠ	電気工学科	1	1	
	プログラミングⅡ	〃	2	2	
	プログラミング応用	〃	3	5	

	受講学生数	計算機実習を強制する科目	宿題として計算機を利用する科目	実習や宿題は課さないが計算機に直接関係ある科目	昭和 48 年度授業担当者氏名,所属,常勤非常勤の別
	38	○			野島一利　機械工学科
	49	○			野島一利　〃
	46				越前屋卯一　電気工学科
	43	○			〃　〃
	40			○	〃　〃
	40			○	〃　〃
	46	○			〃　〃
	43	○			〃　〃
	8	○			安田文彦　〃 越前屋卯一
	42	物理化学	物理化学実験	化学工学自動制御	宇梶　剛　工業化学科
	42	〃	有機工業化験	〃	〃　〃
	39	〃	物理化学	化学工学自動制御	〃　〃
	40	〃			〃　〃
	90			○	関根詮明　電気
	90		○		横川博良　電気
	90	○			関根詮明　〃

高専名	授業科目名	対象学年	授業時間数(週)	対象学年	
桐蔭学園工高専	数値解析	電気工学科	2	3	
	電子計算機	〃	2	4	
	情報理論	〃	2	5	
	生産工学	〃	2	5	
	電子工学（第Ⅰ）	〃	5	3	
	電子工学（第Ⅱ）	〃	3	4	
	応用電子工学	〃	3	5	
	電子計算機実習	〃	1	5	
	応用数学	〃	2	5	
	電気工学実験	〃	12	2,3,4,5,	
	電子計算機	機械工学科 工業化学科	2	5	
	生産工学	機械工学科 工業化学科	2	5	
	システム工学	機械工学科	2	5	
電子計算機の有無 ⓐ b無					
金沢工高専	電子計算機	電気工学科	2	5	
	数値解析	〃	1	5	
	情報理論	〃	2	5	
	情報工学	機械工学科	2	5	
	電子計算機	〃	1	5	
電子計算機の有無 ⓐ有 b無					

	受講学生数	計算機実習を強制する科目	宿題として計算機を利用する科目	実習や宿題は課さないが計算機に直接関係ある科目	昭和48年度授業担当者氏名,所属,常勤非常勤の別
	90		○		横川博良　電気
	90	○			関根詮明　〃
	90			○	丹羽義栄　〃（非常勤）
	90				森山　芽　〃（　〃　）
	90				安藤秀哉　〃
	90				土屋真太郎　〃
	90				宮坂武芳　〃（非常勤）
	90	○			関根詮明　〃
	90				鈴木敏弘　一般
	360	○			安藤秀哉　電気
	135	○			辻　毅一　機械
	135				加賀忠孝　〃
	90				辻　毅一　〃
	92	○	○		北本喜一郎　電気工学科
	92	○	○		〃　〃
	92			○	村本　紘　〃
	66	○	○		中川敏夫　機械工学科
	66			○	村本　紘　電気工学科

高専名	授業科目名	対象学年	授業時間数(週)	対象学年	
能野工高専	情報工学	電気工学科		2	
	〃	土木工学科		1	
	〃	機械工学科		1	
	電子計算機概論	機械工学科		1	
電子計算機の有無	a有 ⓑ無				
大阪工高専	電子計算機概論	機械工学科	前期 2	5	
	〃	電気工学科	後期 2	5	
	〃	〃	後期 2	5	
	情報工学	土木工学科	通年 2	5	
電子計算機の有無	a有 ⓑ無				

	受講学生数	計算機実習を強制する科目	宿題として計算機を利用する科目	実習や宿題は課さないが計算機に直接関係ある科目	昭和48年度授業担当者氏名，所属，常勤非常勤の別
	62				植田　司　（非常勤）
	54				岸田正一
	84				福田安男
	72				福佐弘治
	107			○	高士義則　（非常勤）
	78			○	大塚与左エ門
	78			○	岡部久高
	92			○	〃

返却期限票

○ 最後にある日付があなたの返却期限です。
○ 遅れないように期限内に返却しましょう。
○ 続いて借りたいときは届け出てください。

返却期限票　　MARUZEN

請求番号

登録番号 5506

著者名 (財)情報処理研修センター

書名 職業高校の情報処理教育担当者
情報処理教育センターの現状・高専における情報処理教育の現状・昭和47

所属		読者氏名	貸出日	返却予定日	返却日

5506